

第61回(2026年度) 東海社会人サッカートーナメント大会要項

1. 主催 一般社団法人 東海サッカー協会
2. 主管 一般社団法人 三重県サッカー協会 三重県社会人サッカー連盟
大会責任者 一般社団法人 三重県サッカー協会 専務理事 伊藤 直司
運営責任者 一般社団法人 三重県サッカー協会 社会人連盟 中川 秀紀
3. 大会期日 2026年12月12日(土)・12月13日(日)
4. 試合会場 12月12日(土): 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン・第3グラウンド)
12月13日(日): 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)
5. 参加資格 公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟に登録された第1種(準加盟含む)チームであって、6. 大会規定の(2)に従う。
6. 大会規定
 - (1) 競技規則
(公財)日本サッカー協会の競技規則(2025-2026)を適用する。
 - (2) 選手エントリーについて
 - ①選手エントリー数は30名を上限とし、参加申込み後の登録選手・ユニホーム・背番号等全ての変更は認めない。
 - ②外国籍選手は5名までエントリー可とし、試合への登録及び出場は3名までとする。
(準加盟チームは除く)
 - ③公益財団法人日本サッカー協会から「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては同一「クラブ」内のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることが出来る。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることが出来る。
第1種・シニアの年代は適用対象外とする。
 - ④エントリー選手は、8月末までにJFA登録された選手とする。
 - (3) 試合時間
 - ①90分(45分ハーフ)とする。規定時間内で勝敗が決しない場合はPK方式により次回戦進出チームを決定する。なお、A、B各ブロック決勝戦のみ規定時間内に勝敗が決しない場合は20分の延長戦を行い、なお同点の場合はPK方式により昇格チームを決定する。
 - ②ハーフタイムのインターバルは15分間、延長戦に入るインターバルは5分、PK戦に入るインターバルは1分とする。
 - (4) 選手交代
控え選手の登録人数は9名を上限とする。
規定時間内での交代人数は5名まで、交代回数はハーフタイムを除き3回まで可能とする。
決勝戦で延長戦となった場合は、交代人数と交代回数を1名と1回増加し、トータルとして6名・4回まで交代を可能とする。
脳震盪による交代(再出場なし)を適用する。
 - ①1試合において、各チームは最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。
 - ②「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているにかかわらず、行うことができる。
 - ③「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは(脳震盪に限らず)

いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。

④脳震盪で交代した選手で、脳震盪でなかったことが医師の診断書で証明できる場合に限り、次戦の出場を認める。

(5) ユニフォーム/装身具

出場チームのユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は、チームで統一された色のものを着用すること。また、色違いのものを別に一式用意すること。シャツの前面と背面には選手番号を付け、選手はエントリー表にて届け出た番号のユニフォームを着用すること。

背番号は1から99番までの番号とする。0番は認めない。100番以上の番号については、チームの選手登録数が100人以上いるチームの場合は認める。なお、上記記載事項について参加申込後の変更は認めない。上着の下にシャツを着用する場合、各袖の主たる色と同じ色で1色とする。または各袖とまったく同じ色の柄であること。ショーツの下にタイツを着用する場合、ショーツの主たる色または裾の色と同じであること。その場合、同一チームの競技者が着用する場合同色のものとする。ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色とする。主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

また、ユニフォームに広告を掲示している場合、チームは(公財)日本サッカー協会の規定に則し、(公財)日本サッカー協会の承認を得ているユニフォームに限り着用することができる。

(6) ベンチ

①組み合わせ表の上側のチームがピッチに向かって左側、下側のチームが右側とする。

②ベンチに入ることのできる人数は最大でチーム役員6名と交代選手9名とする。(15名)

③ベンチに入ることのできる役員は参加申込書に記載されている役員に限る。

(7) テクニカルエリアを設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内から都度1名だけが立って伝えることができる。

(8) ウォームアップ

①ピッチ内の使用は試合開始35分前から15分間とする。(GKは40分前から可)

なお、ピッチコンディションによっては変更することがある。

②アップ会場等詳細については本部受付時(試合開始120分前)に説明する。

(9) 試合球は大会運営側で用意する。

試合球 : モルテン ヴァンタッジオ4900

(10) メンバー表提出およびマッチコーディネーションミーティング(以下MCM)

①出場チームは試合開始120分前にメンバー表等関係書類を本部より受取ること。

②試合開始90分前にメンバー表とJFA選手登録一覧表(顔写真付)を本部に提出すること。

③試合開始70分前にMCMを行う。(MCM会場については到着時に案内する)

④MCMへの出席は、MC、審判団、チーム代表者(監督又は責任者)及び運営責任者とする。

チーム代表者は、正副ユニフォームと交代要員が着用するビブスを2色以上持参すること。

(11) A、B各ブロックの優勝チームは2027年度東海サッカーリーグ2部に昇格できる。

尚、東海サッカーリーグ昇格チームに順位付けを必要とする場合は、Aブロック優勝チームを1位、Bブロック優勝チームを2位とする。

7. 懲 罰

(1) 本大会と各県内リーグは懲罰規程上の同一競技とみなさない。ただし、各競技会終了時点での退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会が直近の公式試合である場合、本

大会において順次消化する。

- (2) 本大会において他大会の出場停止処分を消化する場合は、事前に大会事務局へ書面にて提出しなければならない。(懲罰規程[別紙2]第6条参照)
- (3) 本大会期間中に科せられた警告の累積は他大会には影響を及ぼさない。
(懲罰規程[別紙2]第2条3項参照)
- (4) 本大会で退場を命じられた選手・チーム役員は自動的に直近の本大会1試合に出場できず、以降の処分については規律委員会において決定する。(懲罰規程[別紙2]第4条参照)
- (5) 出場停止処分を受けた選手・チーム役員は懲罰規程[別紙2]第3条の通り試合が終了するまで制限される区域には立入ることはできない。
- (6) 本大会は日本サッカー協会規約規程に則り大会規律委員会を設け委員長は東海社会人サッカー連盟委員長とし委員については委員長が決定する。

委員長	岩村 宣明	東海社会人サッカー連盟 委員長	(岐阜県)
委員	茶山 暁志	東海サッカー協会 審判委員長	(静岡県)
委員	中川 秀紀	東海社会人サッカー連盟 委員	(三重県)
委員	加藤 敬	東海社会人サッカー連盟 委員	(静岡県)
委員	藤井 祥男	東海社会人サッカー連盟 委員	(愛知県)

- (7) 本大会の規律問題は日本サッカー協会(基本規程[懲罰規程])に従い大会規律委員会が処理しなければならない。

8. その他

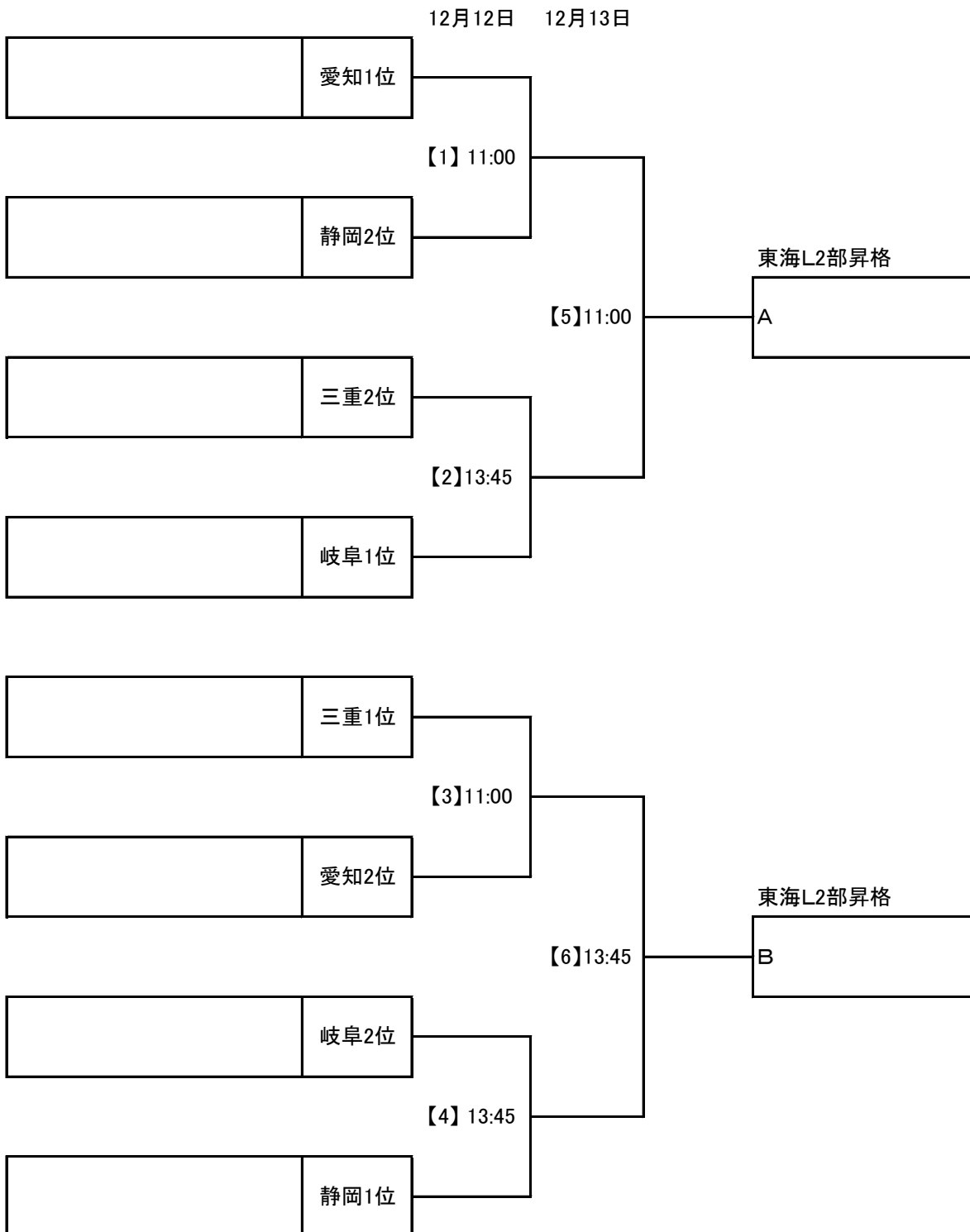
- (1) 天候不良やその他事由により試合が中止または大会開催自体が中止となった場合の措置
 - ① 前後半を問わず、試合が最後に中断された時点の得点の多いチームが次回戦に進む。
 - ② 前後半を問わず試合が最後に中断された時点の得点と同じ場合は抽選により次回戦に進むチームを決める。中断の判断については、主審、マッチコミッショナー、運営責任者、東海社会人サッカー連盟役員で協議し決定する。
 - ③ 大会開催の中止の判断については、東海社会人サッカー連盟役員で協議し決定する。
また、東海サッカーリーグ2部への昇格チームについても同様とする。

9. 大会組合せ

試合会場: 12月12日(土)【1】【2】三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(第3グラウンド)

12月12日(土)【3】【4】 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)

12月13日(日)【5】【6】三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)



【 】括弧内は、マッチナンバーを示す。